

# 三重県アセアンビジネス展開サポートオフィス

## <現地レポート（2024年8月発行）>










### ○ 三重県アセアンビジネス展開サポートオフィス開所のご案内

三重県では、県内事業者のアセアン地域における海外ビジネスの取り組みを伴走型で支援するため、タイ・バンコクに「三重県アセアンビジネス展開サポートオフィス」（MISA）を設置しました。

アセアン地域の現地情報の提供、個別相談対応、展示会・商談会への出展支援等、事業者の皆様の取り組み段階に応じた支援をさせていただきます。

サポートオフィスについて、例えば以下のようなイメージでご活用頂けます（記載内容は架空の事例です。）

ご支援が必要な点がございましたら、是非ともご活用ください。

ご相談者様	ご依頼事項	アセアンビジネス展開サポートオフィスの支援内容
 A社 海外事業担当 (食料品製造業)	 三重県内で販売している加工食品をアセアンに展開したいが、現地の事業者や消費者が製品に対してどのような反応を示すか分からなかった。	 タイ現地の食品に関する展示会や見本市に関する情報を収集・提供して、ブースの申し込み方法をご案内。田中様は、バンコクの展示会に自社商品を出展して、現地の事業者や消費者の「生の声」を聞くことができた。
 B社 事業開発担当 (卸売業)	 タイの現地事業者との商談のために通訳を手配する必要があるが、どのような通訳者を手配すればよいか分からなかった。	 タイ現地で同種の商談において実績のある通訳派遣会社を紹介。佐藤様は、問題無く商談を実施することができ、タイにおける事業展開に向けたパートナーを得ることが出来た。
 C社 マーケティング担当 (サービス業)	 将来的にタイを中心とするアセアン地域への展開を検討しているが、アセアンに行ったことが一度も無く、現地の消費者トレンドや社会の状況を把握していなかった。	 タイ在住の担当者が、アセアンの消費者トレンドや社会の動向について、オンライン会議にて紹介した。加藤様は、現地の消費者の動向について基礎的な理解を得ることが出来た。

### ○ 担当者からのご挨拶

MISAの業務委託先である野村総合研究所タイの小林と申します。

2018年からアセアン（シンガポールおよびタイ）に在住しており、アセアン地域における消費財、小売・サービスを専門としております。本現地レポートも、私が担当させていただきます。アセアン地域への進出に際してご支援が必要な点がございましたら、三重県ホームページの申し込みフォームからお気軽にお申し込み頂ければと存じます。

### ○ タイにおける生活のご紹介

MISAの所在地であるタイについて、外務省のデータによると2023年時点の在留邦人の数が70,000人を超えており、日本人にとって最も住みやすい海外都市の一つであるとも言われております。

特に日本食については困ることが無く、筆者も過去に米国、英国、シンガポール、タイと様々な国に住んだ経験がありますが、タイがもっとも日本食が充実している国であると実感しております。JETROの「2023年度タイ国日本食レストラン調査」によると、2023年時点でタイにおける日本食レストランの数は5,751店舗となっており、大戸屋やスシローなどの大手外食チェーン店から一食3万円もするような「おまかせ」専門の店など、幅広いジャンルの日本食が現地の消費者によって人気を博しております。食材に関しても、鮮魚は日本各地から週に数回空輸され、早いものでは水揚げの翌日にタイに到着しています。

今後も、日本食の店舗数は増加傾向にて推移していくことが見込まれ、現地の消費者にとって日本食はより身近な存在になっていくことが期待されます。出張でタイに訪れる機会がありましたら、現地視察先の候補の一つとして頂くのはいかがでしょうか。

三重県アセアンビジネス展開サポートオフィス（MISA）

Tel: +66-92-619-5775 Email: mie-asean-ext@nri.co.jp

担当者：小林（こばやし）